

お肉の生食や加熱不足に

注意してください！

お肉の生食や、焼肉、バーベキューなどのお肉の加熱不足によるO・157やカンピロバクター食中毒が発生しています。

特に小さいお子さま、高齢の方、体が弱っている方などは、食中毒の症状が重症化することがあり、とても危険です。

正しい知識をもち、家庭でもできるO・157やカンピロバクター食中毒の予防を実践しましょう。

また、腹痛、下痢、血便、発熱など、食中毒が疑われる症状を発生した場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。

▼「O・157」・「カンピロバクター」食中毒の予防方法

◎お肉の生食は避け、十分に加熱する

お肉の生食は避けましょう。

お肉の中心部を75℃で1分間以上加熱すれば菌は死滅します。

◎生肉に触れた食器等を使用して食べない

お肉を焼くときの取り箸、トングなどは専用のものを使いましょう。

◎調理器具の消毒を十分に行なう

お肉を扱った調理器具は洗剤で洗い、熱湯等で消毒してから他の食品の調理に使いましょう。肉専用の包丁やまな板を用意し、他の食材との共用を避けることがより効果的です。

◎手洗いを十分に行なう

お肉を触った後やトイレの後は、しっかり手洗いしましょう。

地域防災力の向上を目指して

局地的豪雨に備えて

土砂災害防災訓練を実施

6月4日、地名集会所にて、局地的豪雨による土砂災害に備えるための防災訓練を実施しました。

総勢68名(地名区民59名、県中部危機管理局職員1名、県島田土木事務所川根支所職員1名、消防団第8分団員3名、役場建設課職員4名)が参加した訓練では、10名程度のグループに分かれ、避難場所や避難経路、身近な災害危険箇所を地図上に記入して「手作りハザードマップ」を作成しました。

マップの作成によって地域特有の災害発生原因と適切な避難経路を確認した参加者からは「自分たちにあった避難方法を考える良い機会になった。実際に避難する際には、大雨情報に注意し、早めに行動することが大切だと改めて感じた」といった感想が聞かれました。

局地的豪雨に対応するには、避難マニュアルを過信することなく、住民自らが危険を判断し自主避難をする「防災意識の向上」が必要不可欠です。

お住まいの地域でも、「手作りハザードマップ」作成をはじめとした防災訓練を実施し、住民ひとりひとりの「防災意識の向上」を図っていきませんか。



エコティ日記

このページで連載を始めて6年目になりますが、いまだに「エコティって何をやっているの?」と聞かれることが多いです。ひと言で表すのは難しいのですが、強いて言えば「川根本町の地域資源を生かした体験プログラムを実施している団体」といったところ。もっと広く言えば「川根本町の活性化」や「交流人口の拡大」ですが、それだと漠然としすぎて伝わりにくいですね。

実は「何をやるのか」ということと同じくらい、それを「どうやって伝えるか」が大切だと思っています。良いことをやっているのだから分かる人だけが分

- かってくれれば良い、という考え
- 方はエコティかわねのスタイルではありません。やっていることを
- 分かりやすく、少しでも多くの人たちに伝え、共感・賛同してもらいたいからです。
- 私たちが実施するプログラムのお客様の多くが町外、それも静岡県内の方々です。では川根本町民とエコティかわねは無縁なのかといえ、そうではありません。実は小中学校、高校、地域の生涯学習、社会教育など、皆さんの身近な所で地道に活動しています
- 「エコツーリズムやエコパークについて知りたい」「山のガイドをしてほしい」「バードウォッチングの講師をお願いしたい」「木を使った体験できますか?」などなど、いろんな依頼が飛び込んできます。中には「地域のことをよく知らないから、何か企画を提案してください」なんて大雑把なものも。

さすがにボランティアというわけにはいきませんが、できるだけ要望にお応えしています。エコティの活動や会員のことを知っていただきたいし、地元の魅力に気づいて、ここでの暮らしを楽しんでいただきたいからです。

いくら口で説明しても、体験に勝るものはありません。「エコティって何だ?」と思っている方にこそ、エコティのプログラムを体験していただきたいので、町民向けの企画もやっていこうと思います。



5月に開催した「いのちのがっこう 野あそび&野ごはん編」にて。身近な野草を採ってピザを作りました。



神東美希 (かんとう みき)
平成 24 年5月から川根本町エコツーリズムネットワーク事務局を担当。この4月から一般社団法人エコティかわねの事務局長としてエコツーリズムを核とした様々なまちづくり事業を展開。

一般社団法人エコティかわね
川根本町桑野山424-6
電話 : 0547-58-7000
ファクス : 0547-58-7001
E-mail: ecotkawane@gmail.com

◆川根のみきていが綴る「ブログ版 川根本町エコティ日記」 <http://eco2kawane.eshizuoka.jp/>

今年も「日本で最も美しい村」フォトコンテストが開催されます。この機会に、小さくても輝くオンリーワンを持つ川根本町の魅力(自然と人間の営みが作り上げた本当に美しい景観や歴史・文化)を全国へ発信してみませんか。

入選作品には賞品・賞金もあります。詳細については、インターネットで「日本で最も美しい村」連合を検索するか、町の各施設に配架してあるチラシをご覧ください。

「日本で最も美しい村」連合とは...

2005年に設立されたNPO法人で、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観や環境・文化を守り、地域資源を活かしながら美しい村としての自立を目指す運動を展開しています。

現在、全国64の町村・地域が加盟しており、川根本町は2015年10月に加盟しました。



「日本で最も美しい村」 フォトコンテスト2017

企画課・まちづくり推進室 ☎(56)2221

- ▼対象…県内居住の20歳以上の男女
- ▼定員…4名以内(書類・面接により選考)
- ▼受付…7月1日(土)から31日(月)まで
- ▼申し込み先…静岡県・男女共同参画課

☎054(221)2824

県の男女共同参画会議委員を募集します

企画課・まちづくり推進室 ☎(56)2221